

日本人が、がんになる確率 50% 早期に発見できれば完治する確率 90% !

～がん検診 知って受ければ あなたの味方～ がん検診理解度 **CHECK!**



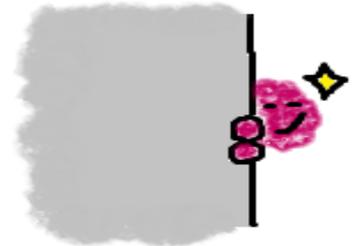
### Q1 がん検診は 100%がんを見つけることができる？

答え：✕

がん検診技術は目ざましく進歩しています。また、検診の精度を高めるため日々努力・工夫をしています。しかし、100%がんを発見できる検査はありません。**がんが見つけない場所にあたり、見つけない形をしている場合は発見できないことがあり、がんがあっても「異常なし」と判定されることがあります。**

逆に、**がん検診で「要精検」であっても**、それが本当にがんなのか、治療が必要ながんなのかは精密検査をして初めて分かることです。**結果的に「異常なし」という場合もあります。**

その他のがん検診のデメリットとして、放射線検査における被ばくの問題や、バリウムによる誤嚥、アナフィラキシー、消化管穿孔、腸閉塞、腹膜炎、過敏症などを引き起こすことが挙げられます。



❗ **がん検診のメリット・デメリットをよく理解して受けることが大切です。**

### Q2 自覚症状があっても、もうすぐ検診だから病院は受診しない？

答え：✕

検診は異常があるかないかを振り分けるもので、病気を診断するものではありません。**自覚症状がある場合は、検診を待たず速やかに医療機関を受診しましょう。**

女性は**ブレスト・アウェアネス（乳房を意識する生活習慣）**が大切です。

日ごろから自分の乳房を意識し、その状態を知っておくことで、はじめて異常の出現に気がつくことができます。4つのポイント、**①自分の乳房の状態を知る、②乳房の変化に気をつける、**

**③変化に気づいたらすぐ医師に相談する、④40歳になったら定期的に乳がん検診を受ける、**を習慣づけましょう。



### Q3 がん検診を受けることで、がんによる死亡リスクが減少する？

答え：○

胃がん・大腸がん・肺がん・子宮頸がん・乳がんは、がんによる死亡原因の上位に位置します。

これらのがんの検診は、**早期発見でき、治療で死亡率を減少させることが科学的に証明されている、有効な検診**です。

■がん死亡数上位5部位（2022年）

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃
計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

（出典：がん情報サービス最新がん統計）



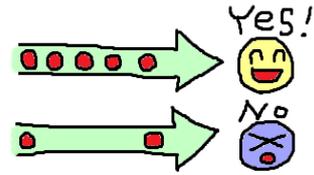
❗ **子宮頸がんは、日本女性のがんの中で比較的罹患率が高く、また近年増加傾向にあります。**

## Q4 がん検診はたまに受ければいい？

答え：✕

がんの進行速度は種類によりまちまちですが、**検診間隔は**できるだけ多くのがんが**早期に発見できるように設定**されています。

**早期発見のために、必ず毎年（がん検診によっては2年に1回）、定期的に検診を受けましょう。**



## Q5 がん検診で「要精密検査」判定でも検査を受けなくて良い？

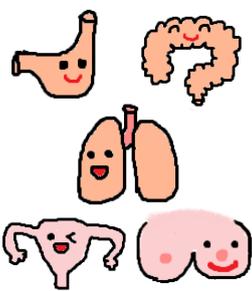
答え：✕

がん検診で「要精密検査」と判定されたのは、「がんを含め異常がありそう」と判断されたためです。より詳しい検査を受け、**本当に異常があるか調べる必要があります。**

また、**自覚症状がある場合は、検診結果に関わらず医療機関を受診しましょう。**



### ■ がん検診の精密検査の方法

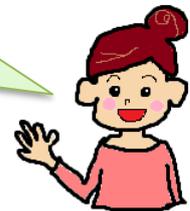


がん検診	精密検査の方法
胃がん検診(X線、内視鏡)	内視鏡、生検
肺がん検診(X線、喀痰細胞診)	CT、気管支鏡
大腸がん検診(便潜血)	第一選択は全大腸内視鏡、 困難な場合はS状結腸内視鏡と注腸X線の併用
子宮頸がん検診(細胞診、HPV)	コルポスコープ、組織診
乳がん検診(マンモグラフィ、超音波)	マンモグラフィ追加撮影、超音波、細胞診、組織診

※検査の概要については事業団HPをご覧ください。

医療機関については、自治体、検診機関、かかりつけ医などにご相談ください。

または、「**栃木県 がん検診精密検査医療機関**」で検索！（栃木県ホームページ）



### ■ 精密検査結果の把握について

精密検査の結果は、がん検診の精度管理を行うための重要な情報となります。そのため、検診を受診した自治体（市町）と検診機関も共有することになっています。

⚠️ 精密検査結果は、個人の同意がなくても自治体（市町）や検診機関に対して提供できることが個人情報保護法例外事項として認められています。

## Q6 タバコがなくなれば、男性のがんの3分の1が減る？

答え：○

がんになった人のうち、**男性30%、女性5%はタバコが原因**と考えられています。

また、日本で最も死亡が多い**肺がんの最大の原因は、タバコ**です。

口やのどのがん・胃がん・食道がん・肝臓がん・膵臓がん・膀胱がん・子宮頸がんも関連しています。

さらに、最大の問題は、**周りの人にも健康被害（肺がん等）**を引き起こすことです。**禁煙しましょう！**

**喫煙者の肺がんになるリスク**：非喫煙者に比べ、男性4.4倍、女性2.8倍！

**受動喫煙者の肺がんになるリスク**：受動喫煙のない者に比べ、28%高い！

（参考：国立がん研究センター「がん情報サービス」、厚労省「喫煙と健康」）

★掲載内容について、弊社の許可なく複製・複写・転載することをご遠慮願います★

～検診実施機関～ 公益財団法人栃木県保健衛生事業団

URL <https://tochigi-health.or.jp/healthcare/cancer-screening/>

がん検診の情報について⇒  
(公財)栃木県保健衛生事業団HP

